
健康・医療クラウドWG 活動報告

2011年12月22日

KDDI株式会社

1.メンバー（12/22時点）

（44企業、8団体）

全体監修

国際医療福祉大学大学院 武藤正樹 教授

独立行政法人国立病院機構 京都医療センター 北岡有喜 医療情報部長

株式会社 IDCフロンティア

アマノビジネスソリューション株式会社

株式会社 インテージ

株式会社 インターネットイニシアティブ

株式会社 インテック

株式会社 STNet

株式会社 NTTデータ

株式会社 NTTドコモ

オムロンヘルスケア株式会社

カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社

関電システムソリューションズ株式会社

ココカラファイン

三洋電機株式会社

シャープ株式会社

新日鉄ソリューションズ株式会社

セイコーエプソン株式会社

ソフトバンクテレコム株式会社

株式会社 タニタヘルスリンク

株式会社 東芝

東芝情報システム株式会社

デロイトトーマツコンサルティング株式会社

株式会社日本医療事務センター

日本電気株式会社

NESTA JAPAN

ネットワンシステムズ株式会社

株式会社 博報堂

パナソニック株式会社

ビオスピクス株式会社

東日本メディコム株式会社

株式会社 日立ソリューションズ

株式会社 日立コンサルティング

株式会社 富士キメラ総研

富士通 株式会社

プライムワークス株式会社

株式会社 ベネフィット・ワン

マイクロソフト

三菱商事株式会社

三菱電機株式会社

株式会社 メディアネットワークス

雪印メグミルク株式会社

(株)メタキューブ

株式会社 リコー

独立行政法人 情報通信研究機構

鹿児島大学

東京医科大学病院

東京工科大学

名古屋大学

特定非営利活動法人

日本健康増進施設協会

KDDI株式会社(幹事会社)

株式会社メディエイド

2.活動状況

項目	2011年							2012年
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	
WG	◆第1回WG						◆第2回WG	
SWG			◆第1回サービスSWG		◆第2回サービスSWG		◆第3回サービスSWG ◆第4回サービスSWG	
			◆第1回ミドルウェアSWG				◆第2回ミドルウェアSWG	
展示会	◆モダンホスピタルショー			◆CEATEC				

2-1. 第1回サービスSWG

日時・場所	2011年9月8日(木)14:30~17:00 於KDDI飯田橋駅前ビルオフィス内会議室
参加者	18社、32名
議事次第	<ul style="list-style-type: none"> ①WG活動計画案(KDDI) ②WGの進め方(KDDI) ③各社自己紹介



40~60代生活習慣病予備軍

生活習慣指導(食事・運動・休養)プログラム

- メンタルケア
- 将来予測プログラム
- モチベーションUP(継続)
- 地域連携

70~80代高齢者

- 見守り支援サービス
- 在宅・遠隔医療
- 在宅介護サービス
- 生活支援サービス
- 地域連携

集約

- ・ターゲットは高齢者とし、ユースケースを考える。
- (注意ポイント)具体的なターゲットは? アクティブシニア層か要介護の方が。
- ・次回WGでは、各社におけるユースケースを検討し、議論を行う。

2-2. 第1回ミドルウェア・インフラSWG

日時・場所	2011年9月9日(金)14:30～17:00 於KDDI飯田橋駅前ビルオフィス内会議室
参加者	19社、30名
議事次第	<ul style="list-style-type: none"> ①WG活動計画案(KDDI) ②WGの進め方(KDDI) ③各社自己紹介

サービスSWG

事業化を見据えたユースケースの作成
(健康予防、疾病管理、在宅介護・・・)

事務局

システム概念図
(プロセス、データの流れ等の整理)

ミドルSWG/インフラSWG

システム要件と標準適応
→ 標準がない部分については、検討課題化
<標準化を目的とするのではなく、ユースケースを
短期間で実現するための標準化適応>

ミドル・インフラ成果物

標準の適応

方式の検討
(要件整理)

提言事項

外部の動き

各種ガイド
ドライン

連携
(国内の医療
クラウド動
向)

海外の動向
(mHealth
等)

国際化標準
(HL7、IHE
等)

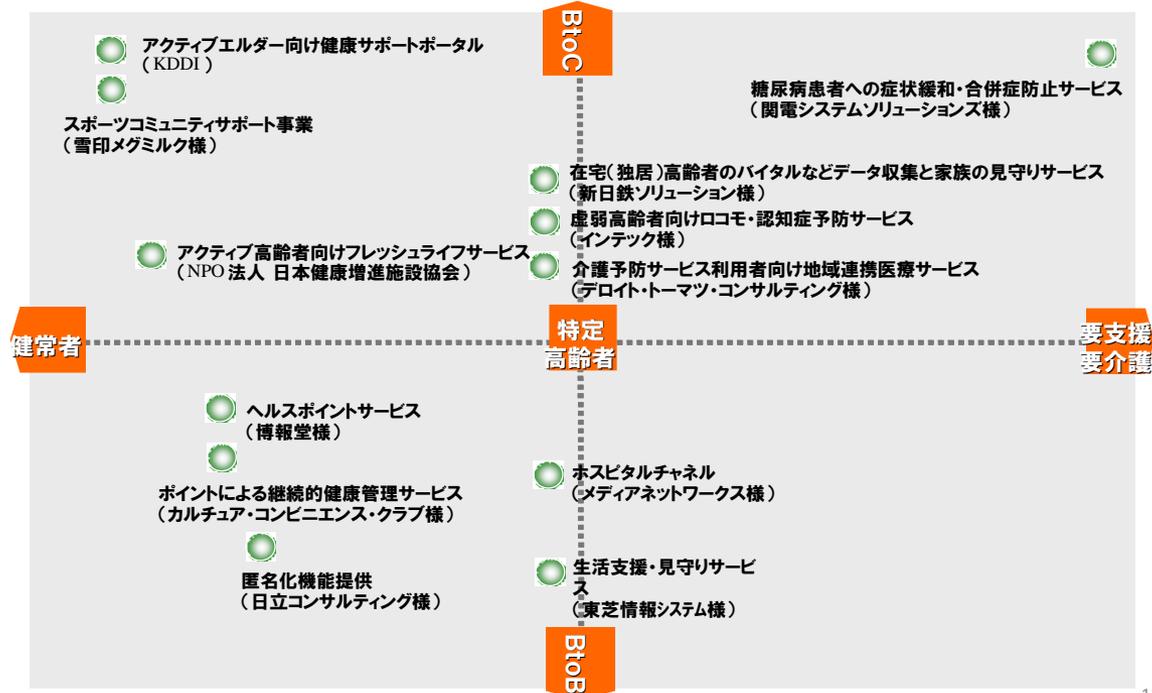
集約

- ・サービスSWGを先行させて、ユースケースの内容をフィードバックしたかたちでの実施とする。
- ・ミドルウェア・インフラSWGからの検討要望(非機能要点的な内容)は、サービスSWGにフィードバックする。

2-3. 第2回サービスSWG

日時・場所	2011年11月8日(火)14:30～17:00 於KDDI飯田橋駅前ビルオフィス内会議室
参加者	国際医療福祉大学大学院 武藤正樹 教授 20社、38名
議事次第	<p>①講演(国際医療福祉大学大学院 武藤正樹 教授) 地域連携、在宅医療、介護の状況等</p> <p>②高齢者を取り巻く環境等紹介(KDDI)</p> <p>③ユースケースの説明(参加企業各社)</p> <p>④ディスカッション</p>

サービスモデルの検討(各社まとめ)



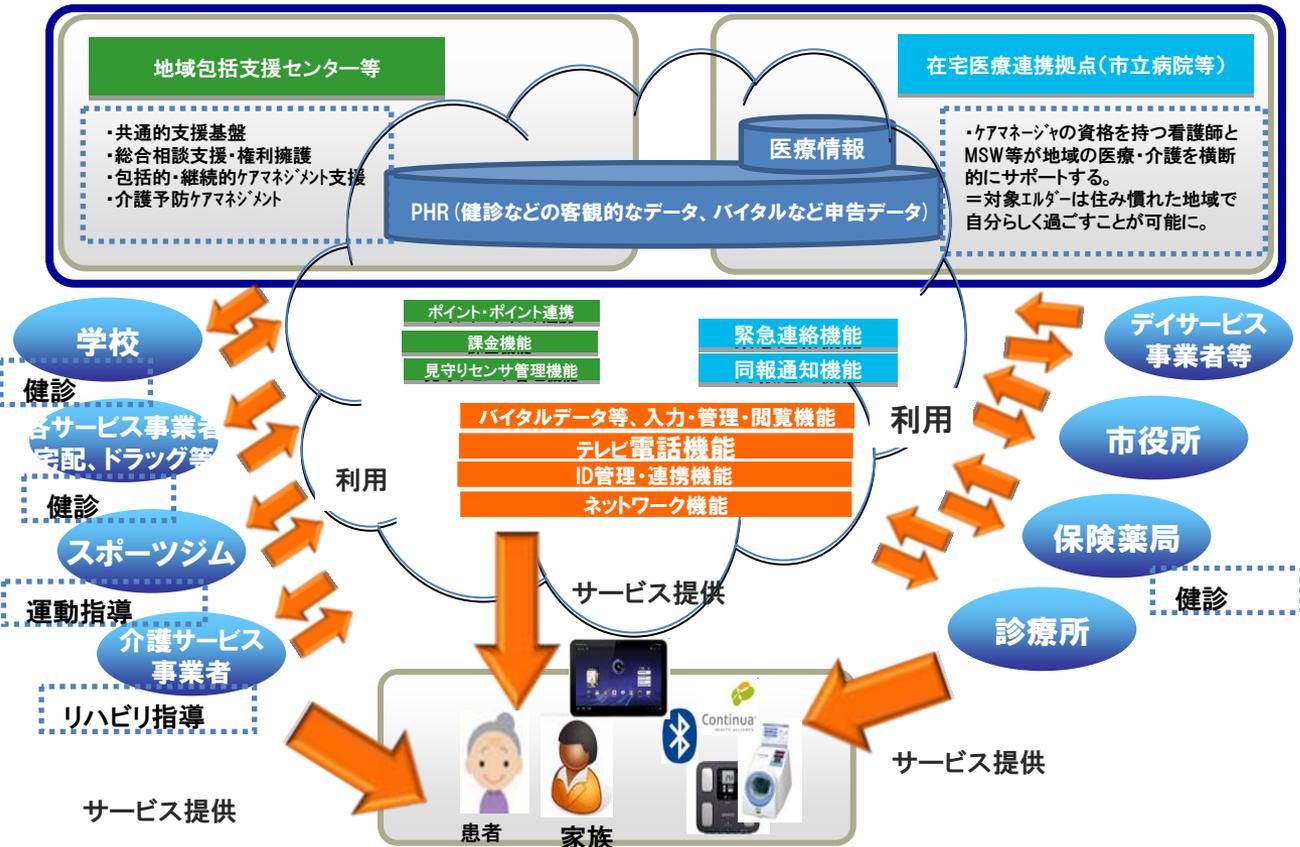
集約

- ・収益性についての検討は必要だが、限られた時間の中で決めるのは厳しい。
- ・継続させる仕組みとしては、コミュニティでの競い合い、ポイント、センサーなどを使って自動的にデータを蓄える仕組みが継続させる一つのキーとなるのではないか。
- ・武藤先生の講演や議論内容から事務局にて方向性を検討し、次回のサブワーキングで参加各社に報告する。

2-4. 第3回サービスSWG

日時・場所	2011年12月7日(水)13:30～15:40 於KDDI品川オフィス内会議室
参加者	国際医療福祉大学大学院 武藤正樹 教授 独立行政法人国立病院機構 京都医療センター 北岡有喜 医療情報部長, 19社、30名
議事次第	①講演(国立病院機構 京都医療センター 北岡有喜 医療情報部長) 個人向け健康情報管理サービス ポケットカルテ ②在宅医療連携拠点事業の説明(KDDI),③事業モデル案(KDDI),④ディスカッション

連携機関や提供サービスイメージ

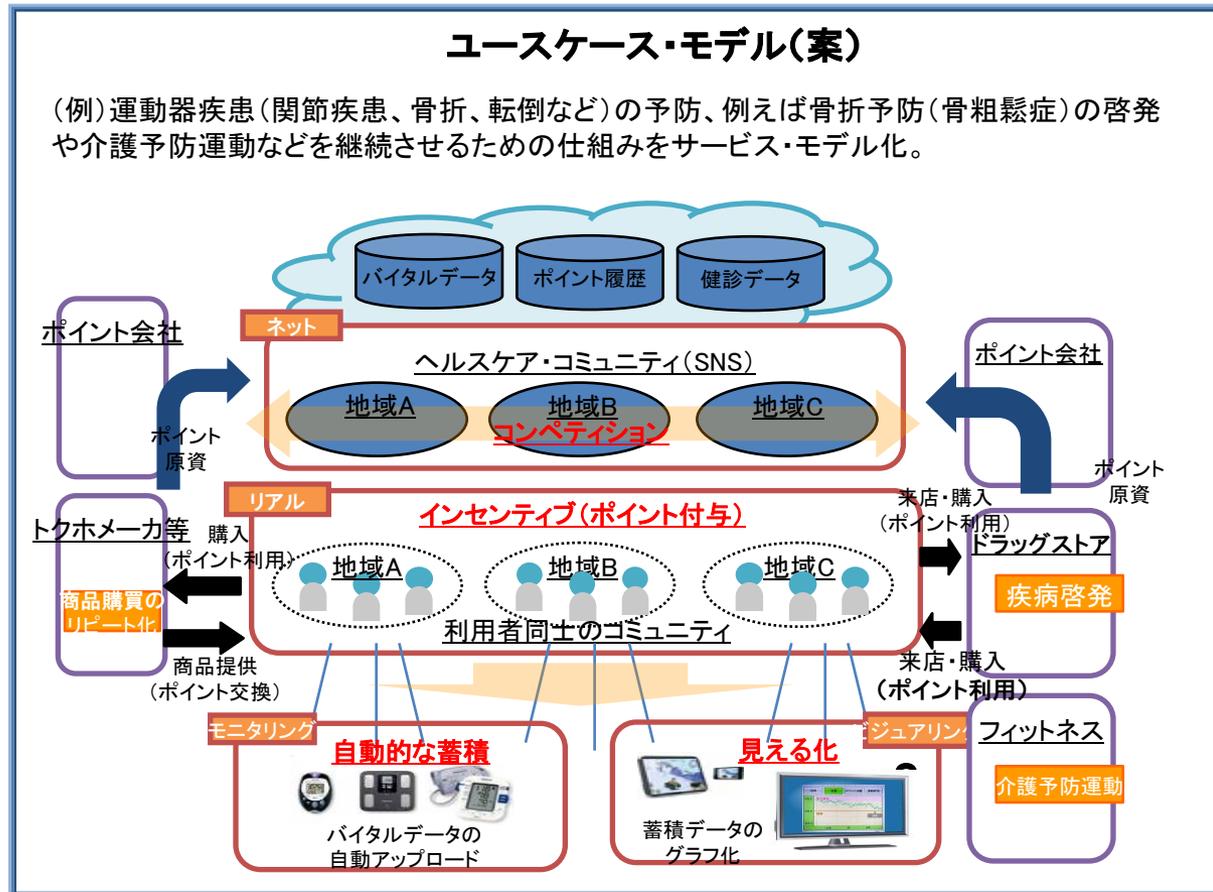


集約

- ・ユースケース検討範囲について、健康支援だけでなく、マネタイズの観点も含めて、介護や在宅医療等まで広げて再検討する。
- ・12/26までに、検討範囲を広げた(健康・介護・在宅医療・多職種連携)ユースケースを幹事会社へ提出する。
- ・1月下旬に実施する第4回サービスSWGまでに、各社のユースケースを整理・分類し、ミドルウェア・インフラSWGへ詳細検討を依頼するモデルケースを事務局が提案する。

3. 最新の検討状況と今後の予定

- サービスのユースケースについて、マネタイズや高齢者の実際の利用シーンという観点も含めて再検討する。ユースケースの再検討にあたり、ニーズとベネフィットも明確化する。
(2011/12/26締め切り)
- 第4回サービスSWG(2012/1月下旬)までに幹事会社にて、各社のユースケースを分類し、4つ程度のユースケースに集約する。また、各ユースケースに共通する機能とユースケース毎に必要な機能を整理する。
- サービスSWGで共通機能とされた機能のシステム構成、機能要件などをミドルウェアおよびインフラSWGで作成する。
- サービスSWGでまとめたユースケース、及びミドルウェアSWG・インフラSWGがまとめたシステム構成等を「JCC健康・医療クラウドWG認定ドキュメント(仮)」と位置づけ、関係省庁に報告すると共に、広く公開する。
- WG各社は、これらドキュメント類を活用して事業等を行い、共有できるものがあれば、WGメンバーで共有する。
- 最終目標
 - クラウドを活用した健康・医療サービスの普及を通じて、国民のQOLの向上を目指す。



4. スケジュール

11年4Q:サービルモデルの決定
11年4Q:ミドルウェア要件着手

12年1Q:ミドルウェア要件の決定(目標)
12年1Q:インフラ要件の決定(目標)

